

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	献血推進事業	担当課	保健センター	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	昭和39年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	任意的事務
	基本事業	地域医療体制の確保	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-040101-03 単独	根拠法令・条例等	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
「採血及び供血あっせん業取締法」が昭和31年に制定され被採血者の保護と採血業の規制が主眼となっていた。昭和39年の閣議決定により、献血が本格的に開始された。	厚生労働省・都道府県・日本赤十字社が推進している「県民が医療で必要とする血液製剤を県民の献血により確保する」体制を目指し献血を実施する。献血への理解と協力、参加を求めるため広報・ホームページで周知を図る。献血実施においては、献血推進団体や事業所の協力を得て実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
県内の医療に必要な輸血用血液を県民の献血により確保する体制を確立する。献血に関する市民の理解、献血受け入れを円滑に進め、安定した血液製剤確保につなげていく。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民が、いつでも安心して医療が受けられる体制を整備する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
献血に協力する市民が伸び悩んでいる状況である。	平成29年11月～平成30年3月 高校生の献血キャンペーンの実施 平成29年11月～平成30年2月 はたちの献血キャンペーンの実施 平成29年12月クリスマスキャンペーンの実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
献血に関する市民の理解、献血受け入れを円滑に進め、安定した血液製剤確保につなげていく。 企業ごとの献血受付を、短い受付時間にする等の工夫をしてみる。 各種キャンペーンを実施し少しでも市民に興味を持っていただくようにする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	献血協力者を維持するためには、最低限必要な経費になる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
全国的にも献血者の停滞があり、改善は難しい。	初めての試みとして献血受付時間を、短くした。そのため、複数の協力企業を組み合わせ実施した。献血受付時間を短くすることで企業側の負担を軽減し新たに協力できる企業数を増やす狙いがある。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
献血に理解・協力する市民及び在勤協力者数（人）	1,331.00	1,289.00	1,297.00	1,280.00	12,800.00
献血に理解・協力する献血推進団体・事業所件数（箇所）	7.00	9.00	11.00	10.00	10.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	全国的にも献血者の停滞があり、改善は難しい。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	血液製剤を確保するには献血以外に方法はない。この事業は人命に関わる血液の供給であり、公共性が高い事業であることから、継続していく必要がある。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	247	242	198	343	343
	国・県支出金	0	0	0	70	70
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	273	273
	一般財源	247	242	198	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	129.00	113.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	529	463	0	0
トータルコスト		247	771	661	343	343